

【第16回ゲスト】

# 小泉 勉氏上

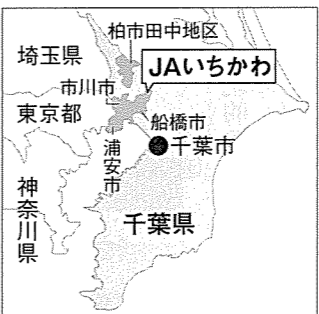
千葉県JAいちかわ代表理事組合長

【インタビューとまとめ】

石田正昭

龍谷大学農学部教授

ベテランの味が際立っている小泉勉組合長。地域社会のリーダーとして、地域農業のリーダーとして、そしてJAのリーダーとして、余人をもって代えがたい存在がある。それを生みだしているのは、ごく自然にじみ出てくる「善行を積む姿」と見た。



最優秀の農林水産大臣賞をお取りになりました。  
小泉 梨は戦後に祖父が始めました。市川の梨は二〇〇年くらいの歴史があるので、わが家が草分けではありません。でも、国分ではわが家が草分けになる。祖父は三六、父は六〇、母は五〇で亡くなりました。みんな早死にですよ。その分、責任を持って梨づくりに励みました。

石田 三人の息子さんたちも跡を継いでいます。

小泉 鎌ヶ谷市にも土地を求めて、今は全部で二町五反つくっています。『二十世紀』と『長十郎』だったのを『豊水』に切り替えました。

『幸水』はクロボクに合わないのが少しだけ。現在は『秋麗』を広げています。直売所裏の梨園では、園地全体に巨大な多目的「防災網」をめぐるし、風や雹、害虫などを防いでいます。

石田 あの防災網にはびっくりしました。息子さんたちが張り切る

## 善行でみんなの想いを まとめ、一歩前に進みたい

### 善行でみんなの想いをまとめる

石田 ここは昔、東葛飾郡国分村とお聞きしました。その下の名は。小泉 大字国分字国分新田。寛延年間（一七四八〜五一年）に先祖たちが開墾・入植しました。石田 この辺りの地主さんだったとお聞きしました。

「コウヤマキ」が市川市の指定天然記念物になっています。その保存と老朽化した禅照庵を建て替えようと、地区の人たちに声をかけて寄付金を集めました。わが家の土地も三〇〇坪無償で貸しています。石田 農業では梨づくりをなさっています。屋号は「遠山園」で、千葉なし味自慢コンテストでは

のわかりやすい。

小泉 先生ね、昔と比べると、梨の価格は下がりがつばなし。防災網にお金をかけても、元は取れませぬ。これが本当の話です。

石田 昭和六十三年に市川市農協の理事になりました。これも地元への応援があったからでは…。

小泉 そうですが、平理事を一五年やってから、平成十五年に組合長になりました。でも組合長になる前の五年間というのは、実質、わたしが経営を担っていたようなものです。

なぜかと言つとね、理事会が長老たちの集まりのようになってい

て、みんなになりたい、なりたいたい

て、みんなになりたい、なりたいたいという人ばかり。争いが絶えなかった。仮に組合長になっても、理事会がまとまらないので、公約を現実できない。みんな困ってしまった

てね、そこで当時の参事が動いてくれて、若手の理事が調整役を担うことになったのです。というわけで、弱冠五一歳のわたしが、理事会を切り盛りするようになりま

した。若いというので、みんな安心してた。でも、そのうちに定年制をひいて、年齢も下げていくと、残ったのはわたしだけということ

になってしまった。思案のあげく、行政のお力もお

石田 なるほどね。で、組合長になられてすぐ、平成十六年には船橋市農協と合併されました。これは

### タテ、エロ、そしてナナメにも

小泉 もちろんありました。でも経営にかかる負担は船橋のほうが大きかった。正直にいえば、船橋はガバナンスが効いていなかった。そういう事情があって合併の話が出てきたのです。当時の船橋市長に呼ばれてね、「小泉、何とかしろ」って言われたんです。大学の先輩ですが、そう言われても、できることとできないことがある。

ローン返済、優先出資の消却も終わっています。不良債権もほぼなくなり、内部留保も順調に積みあがっています。同じように不良債権問題から、平成二十二年には柏市のJA田中とも合併しました。これも同様の方法で乗り切りました。

石田 市川、浦安、船橋、それに柏。都心に直結した新しい鉄道が



### JAいちかわ (市川市農業協同組合)

組織の概況 (平成30年8月1日現在)

組合員数.....18,828人  
(正組合員 4,914人  
准組合員 13,914人)  
役員数.....34人(うち常勤7人)  
職員数.....353人(うち正職員317人)

### 地域と農業の概況

千葉県北西部の市川市・船橋市・浦安市と、利根川に接する柏市北部に位置する管内は、東京都心から約30キロ圏内にある。ベッドタウンとしての機能を果たす住宅地を多く有しながらも農業が盛んで、営農意欲の高い組合員が地域農業を支えている。管内は、梨、ニンジン、トマト、コマツナ、水稲、花きなどの生産が盛ん。当JAは総合事業を通じ、市民のくらしへの貢献と「地域と共生する都市農業」を実践している。

### JAのデータ (平成29年12月末日現在)

設立 昭和23年4月1日  
本店所在地 〒272-0811  
千葉県市川市北方町4-1352-2  
出資金.....33.6億円  
販売品販売高.....18.4億円  
購買品供給高.....13.1億円  
貯金残高.....3,616.4億円  
貸出金残高.....2,067.7億円  
長期共済保有契約高.....6,380.6億円

建設され、都市化が急速に進んでいます。そういうなかで、見ていて、JAいちかわには人材が揃っているように感じます。

**小泉** 実質、一〇人の役員が経営を担っています。

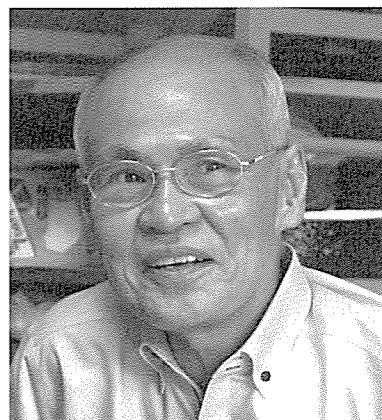
**石田** 一〇人？

**小泉** 経営会議の一〇人がスクラムを組んでやっています。組合長のわたしと副組合長、理事長、副理事長、専務、常勤監事、常務二人、それに船橋と柏の地区統括理事の一〇人です。

**石田** 地区統括理事というポストですが、これは、市川は市川、船橋は船橋、柏は柏で、やっぱり合併前の区域というものを大切にしているんだなと感じます。

**小泉** その通り。作目別の部会組織だけではなく、女性部にしても、青年部にしても、地区別に編成しています。あえて一つにまとめない。これは大事なことです。

**石田** なんで一本化しないのかなと思っていましたが…。地域主権



**いしだ・まさあき**  
1948年生まれ。東京大学大学院農学系研究科博士課程満期退学。農学博士。専門は地域農業論、協同組合論。前・日本協同組合学会会長。三重大学教授を経て、2015年4月より龍谷大学農学部教授。著書に『JAで「働く」ということ〜組合員・地域とどう向き合っていくのか』『JA自己改革から切り拓く新たな協同「上からの統治」に挑む「下からの自治」』（10月刊）（以上、家の光協会）など多数。

を大切にしている。

**小泉** 職員人事でも、合併後の五年間くらいは、地区の異動をかせませんでした。市川と船橋とのあいだでは、支店長の昇格年齢に違いがあつて、無理に年齢を合わせようとすると、組合員とのつながりが切れてしまうからです。貯金してもらえない。

船橋も柏も同じですが、市川と実際に、合併当時の船橋の支店長たちの何人かは部長に昇格してい

国も県も関係していません。ドバイに輸出しています。

**石田** そのきっかけは？

**小泉** 今年で六年目に入りますが、地元の代議士からドバイの話が持ち込まれました。おそらくUAE（アラブ首長国連邦）の王室なりその関係者と個人的なつながりがあつたんだろうと思います。

**石田** 送るにしても、検査、輸送、決済などの問題があります。

**小泉** UAEによる圃場検査はありません。その意味のコストはかかりません。いっぽう輸送、決済については、商社に入ってもらっ

ます。他の合併JAで、そんなところは少ないと思いますよ。

うちの特色は、職員のタテのつながりはもちろんですが、ヨコのつながりも大切にしていることです。経営会議に続いて部長会議を毎週木曜日に開いていて、情報共有に努めています。加えて、ナナメのつながりも強いのです。

## GAP取得をめざして

**小泉** 本店の五階にネットを張って、人工芝を敷いて、業務終了後や土日に練習をしています。バツティンク練習もするので、ネットのない天井にはボール跡がいっぱい付いています。

トップ、セカンド、OBの三チームで構成され、トップチームは天皇杯団体をめざし、セカンドチームは高松宮杯をめざしています。トップチームは三〇歳ちよつとでクビですよ。野球をやるなかでナナメの関係ができて、大きく伸びている職員が多い。

**石田** ナナメ？

**小泉** 軟式野球部が強い。全国大会に出場するくらいの実力を持っています。部署や年齢を超えて、力のある職員たちがそのチームに入っています。今年退任した石井前理事長が部長をしていて、大学で硬式野球をやっている連中を積極的に採用してきたからです。

相談部長、企画部長は、二人ともトップチームの選手だった。市川市野球協会とプロ野球名球会の一戦では、金田正一監督率いるチームと対戦するなかで、混成チームにもかかわらず、企画部長はじめ三人が最優秀・優秀選手に選ばれました。

**石田** そうか、わかった。人材が揃っている理由が。全員野球ではないが、全員経営になっているからだ。  
**小泉** 話は変わりますが、地域をまとめるという点では、地域団体



**こいずみ・つとむ**  
1948年千葉県市川市生まれ。1972年東京農業大学卒業後、就農。1988年市川市農協理事、2003年同代表理事組合長。2014年千葉県農協中央会会長。2017年市川市農協代表理事組合長。現在に至る。

**立地を生かした都市近郊農業**

JAいちかわの各地区は、近年、東京都心への鉄道アクセスが飛躍的に改善した。京葉線、東葉高速線、つくばエクスプレス、北総鉄道などが次々に開通している。

都市開発が進み、農業の継続がむずかしくなったという一面もあるが、その分だけ、都市近郊農業が先鋭化され、特産物を売りやすくなっている。それに呼応するかのよう

に、営農意欲の高い組合員たちがガッチリ農業を守っている。梨をはじめ、ニンジン・カブ・ネギなどの露地野菜、トマト・花きなどの施設栽培も盛んである。

何とんでも、ここの強みは巨大な消費人口を近くに抱えていること。良いものさえつくれば、売ることには困らない。JAいちかわは、輸出やGAP取得などを通して、立地を生かした都市近郊農業の振興に積極的に取り組んでいる。

(石田正昭)

ています。出荷量は昨年が一トン、今年目標は三トンです。

売り先の多くは日本人がやっている高級レストランです。オーナーシェフが一番いい。雇われシェフだと買い切れません。大使館もいい。総領事主催の日本のナショナルデーで使われていて、そこへわれわれもPRに出かけます。出荷時の売り値は、国内向けに少し上乗せした程度ですが。

「船橋のなし」はタイ、マレーシア、シンガポールの東南アジア三か国へ輸出しています。じつは今日、タイ向け第一便として一トン

**石田** なるほどね。

**小泉** 千葉には成田があるので、幕張も浦安もゲートシティのようになつていて、外国人に「千葉の梨」を知ってもらうには絶好です。東京オリンピックに向けてちばGAPも取り、食べ方にも新しい趣向を凝らして知名度を高め、外国人にわれわれの梨園へ来てもらいたいと思っています。

(以下、次号につづく)



【第16回ゲスト】

# 小泉 勉氏下

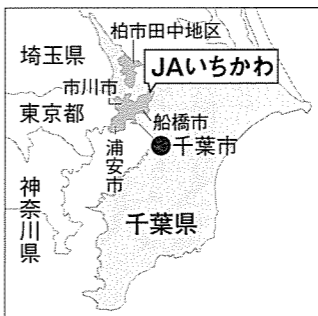
千葉県 JAいちかわ代表理事組合長

【インタビューとまとめ】

石田正昭

龍谷大学農学部教授

地域連携、地域貢献、環境保全など、多彩な活動に取り組むJAいちかわ。見過ごせないのは、ペーパーレス化した理事会の風景。みんなタブレットをのぞき込んでいる。そんな進取の気性をJAに持ち込んだのは小泉勉組合長。今回はその姿をお届けする。



## 善行でみんなの想いを まとめ、一歩前に進みたい

### 地域連携、地域貢献に全力投球

石田 「市川のなし 食べ歩き マップ」をみると、市内に四二店舗、五六品のグルメ&スイーツが揃っているとあります。  
小泉 市川商工会議所が中心になって地域ブランド協議会をつくり、JAと市内の商工業者がコラ

です。

小泉 発祥地が市川だからです。評判がいいのがランチパック、プリン、バームクーヘン、梨ウォーターなど。梨ウォーターは中東にも輸出しています。JAも支店窓口で来店者にプレゼントしています。去年は加工向けで三〇トント

験の際にも青年部に協力してもらっています。女性部もJA感謝祭や市民祭りへの参加、公園清掃「親子料理教室」の主催など、多彩な活動を展開しています。

に、「JA」と「家の光」の違いはわかってもらえますか？

小泉 それはない。わかってもらっても困る。(笑)

石田 ちょっとびっくりですが、東日本大震災のあとでは「浦安市復興支援」と称して、由紀さおりさんや新川二朗さんと呼んでチャリティコンサートを開き、市に復興支援車両を寄贈していますね。

石田 聞くところによると、各地の「ちやぐりん出前授業」では家の光協会の普及担当者が講師をしているとか…。

小泉 「浦安がんばれ！」という思いを込めてね、開きました。ただ復興支援車両の寄贈は浦安市だけではありません。船橋市、市川市にも贈りました。柏市については管内のJAちば東葛と一緒に車

小泉 いや、全部任せきりにしているわけではありません。JAの負担を軽くするためではなく、家の光担当者の授業をお手本にすることで、うちの職員のレベルアップを図りたいからです。

石田 なるほど。で、子どもたち

観点からはじめました。



**JAいちかわ** (市川市農業協同組合)  
組織の概況(平成30年8月1日現在)  
組合員数.....18,828人  
(正組合員 4,914人 准組合員 13,914人)  
役員数.....34人(うち常勤7人)  
職員数.....353人(うち正職員317人)

**地域と農業の概況**  
千葉県北西部の市川市・船橋市・浦安市と、利根川に接する柏市北部に位置する管内は、東京都心から約30キロ圏内にある。ベッドタウンとしての機能を果たす住宅地を多く有しながらも農業が盛んで、営農意欲の高い組合員が地域農業を支えている。管内は、梨、ニンジン、トマト、コマツナ、水稲、花きなどの生産が盛ん。当JAは総合事業を通じ、市民のくらしへの貢献と「地域と共生する都市農業」を実践している。

**JAのデータ** (平成29年12月末日現在)  
設立 昭和23年4月1日  
本店所在地 〒272-0811  
千葉県市川市北方町4-1352-2  
出資金.....33.6億円  
販売品販売高.....18.4億円  
購買品供給高.....13.1億円  
貯金残高.....3,616.4億円  
貸出金残高.....2,067.7億円  
長期共済保有契約高.....6,380.6億円

### 貯貸率は約六割

石田 「未来へ向かって」という意味でしょうか、環境保全、資源循環の取り組みも盛んですね。

小泉 毎年、約一五〇〇トンも出てくる梨の剪定枝の処分に当たっては、幹や根も含めて切削チップにし、市原市にある市原グリーン電力株式会社のバイオマス発電所に送り込んでいます。処理業者と相談して、資源の有効利用という観点からはじめました。

石田 近くには中山競馬場があるのに、なぜ大井競馬場ですか？

て、岩手県、宮城県、福島県の三JAにも合計一六台の車両を贈っています。

また本店屋上にソーラーパネルを設置したり、女性部の協力のもと支店に回収ボックスを設置して、ペットボトルのキャップ回収運動にも乗り出しています。

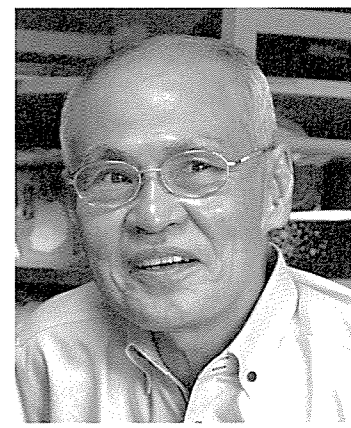
東京都の大井競馬場からは馬ふんを受け入れて、完熟堆肥にし、梨園やニンジン畑に施用しています。堆肥化は農家自身がやるのですが、これが高品質の梨づくり、ニンジンづくりにつながっています。また、このことが縁で、毎年トウインクルレース「く船橋にんじん」JAいちかわ賞が開催されています。ニンジンが馬の好物ということで命名し、来場者にはバック入りのニンジンやニンジンジュースを振舞っています。

**小泉** 中山の馬は、ふだん美浦と栗東にいて、レースのときだけやってきます。なので、良質な堆肥にはならないのです。

**石田** なるほど。で、こうしたJAの積極的な取り組みにもかかわらず、組合員の評価はどういうものでしょうか。試行調査でわかってきたことは何ですか。

**小泉** 正と准との違い、地域性の違い、という点では、大きな差はありませんでした。ただ生産者からは厳しい意見が数件ですが、出てきています。県レベルの認定農業者への農水省アンケート調査で得られたものとよく似た意見が出ています。

**石田** 農水省調査は、調査の公正性が担保されていません。調査対象者をどのような方法で選んだのか、そこに問題があります。  
**小泉** 先生もそう思いますか。わたしも同感です。  
**石田** ディスクロージャー誌を拝見すると、信用事業収益が平成二



**いしだまさあき**  
1948年生まれ。東京大学大学院退学。農学系研究科博士課程満期退学。農学博士。専門は地域農業論、協同組合論。前・日本協同組合学会会長。三重大学教授を経て、2015年4月より龍谷大学農学部教授。著書に『JAで「働く」ということ～組合員・地域とどう向き合っていくのか』『JA自己改革から切り拓く新たな協同「上からの統治」に挑む「下からの自治」』(以上、家の光協会)など多数。

十七年度から大きく下がっています。平均的なJAと比べて、その下がり方は急速です。これは市中の貸出金利が下がったことの反映とみるべきです。そこには信連・中金運用中心のJAとは違った姿が映し出されています。

**小泉** その通り。うちの貯貸率は約六割。平成二十九年末で、貯金がおよそ三六〇億円、貸出金がおよそ二一〇億円です。  
また、下がったとはいうけれど、貸出金が多いので信用事業の粗利益率はほかのJAよりも高い。で

すが、支店の統廃合は待ったなしの状況にあり、現在検討中です。  
**石田** そうでしょうね。で、貸出金が多い理由は何でしょうか？  
**小泉** 努力したからですよ。JAバンクの貸出し指導を全国に先駆けて導入して、住宅ローン専任の渉外をつくったからです。

現在の今野博之理事長が中心になって、平成十四年十二月初ころから、行徳(市川市)をモデル支店にし、休日住宅ローン相談会をはじめました。今ではどのJAもやっていますが、その先駆けとなりました。行徳の経験をふまえて、全支店に広げていきました。

## 大きな方向を見失わない

**小泉** 都心直結の鉄道網が整備され、新しい人がいっぱい入ってきて、建てる人も買う人も増えていった。賃貸用マンションの融資も広がっていった。  
**石田** そうですが、ほかにも金融機関があります。

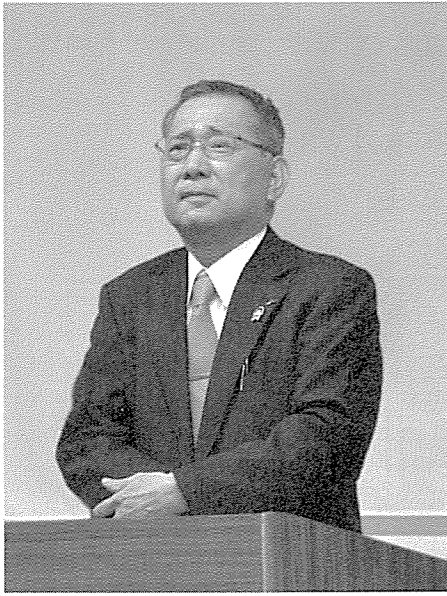
課をつくり、設計段階から融資の相談に乗るようにしています。経営ノウハウに属するので、これ以上は話せませんが…。  
もう一つ重要なことは、古いアパート、マンションの入居率が低いという問題です。これについてはオーナー側にリニューアルを積極的に提案し、入居率を高めるように努力してもらっています。ですからJAが管理しているアパート、マンションの入居率が高い。九割以上をキープしています。これは資産管理部の仕事です。当然のことですが、貸出審査態

**小泉** そこが面白いところで、JAのいいところ、金融機関のいいところ、これがまったく違うのです。JAは地域密着というか、地域に深く入りこんでいます。地元不動産屋や施工業者、ハウスメーカーとのつながりが強い。金融部に住宅ローン専用の特別推進

前を変えていったら、大きな課題を忘れてしまうかもしれない。それは避けたかった。今はまだその途上にあるという認識が重要です。  
**石田** 県全体を見渡すと、経営基盤の弱いJAもあって、合併構想の実現は喫緊の課題です。  
**小泉** その通り。そのためにもわれわれは急がなくてはならない。(終・取材 平成三十年八月二十八日)

勢もすっかり整えています。貸出審査会を設置し、そこに実践的能力者のほか、地域に通暁している地区統括理事や認定農業者など一人一人入ってもらっています。  
**石田** その結果と思えますが、共済は建更が圧倒的に多い。  
**小泉** そうですが、共栄火災の自転車保険は断トツの全国一位。これはわが誇りです。京成八幡駅に向かう通称「北京通り」、あそこは通勤・通学用の自転車だけでなく、朝は自動車通行禁止になっています。それほどに自転車が多い。そういうこともあって自転車事故や相手方への賠償、それに自分自身

のケガの補償をする「JA自転車倶楽部」の加入促進に努めています。民間会社の保険よりもはるかに有利だし、手数料というか奨励金も全部渉外に渡しています。  
**石田** いい話ですね。地域ニーズをぴったり把握しておられる。  
**小泉** 支店レベルでの人材育成がうまく回っているからです。先輩のカバン持ちをするなかで、JAとの付き合いを継続してもらえらるような関係づくりに努めています。何よりもコミュニケーション能力の向上が重要です。  
わが国分新田地区でいえば、毎年、およそ一〇〇軒の班長さんに



**こいずみみつとむ**  
1948年千葉県市川市生まれ。1972年東京農業大学卒業後、就農。1988年市川市農協理事、2003年同代表理事組合長。2014年千葉県農協中央会会長を経て、2017年市川市農協代表理事組合長に就任。

## JA本店は桜の名所

JAいちかわの本店は、鉄道駅から歩くにはちよつと遠い。ここに本店を構えたのは、鉄道敷設の計画があったからだという。だが、その新線計画は立ち消えになってしまった。ただ、本店前を流れる真間川支流の大柏川沿いには桜が植えられていて、名所となっている。本店前の駐車場では、満開の週末をねらって「JAいちかわ桜まつり」が開かれる。夜桜のライトアップを行い、本店職員が総出でおもてなしをする。先着1,000人に豚汁を振舞うほか、焼きそばなどの飲食物の販売や共済の相談コーナーも設ける。桜まつりの一週間前から、夜桜見物客に甘酒が振舞われ、まつりを盛りあげていく。組合員広報誌の「みどりの風」や「JAいちかわ通信」でも告知されており、毎年1,500人くらいの来場者があるという。圧倒的に女性、子どもが多いようだ。(石田正昭)

成田山参詣の呼びかけや五〇〇グラムの新米をプレゼントしています。これはJAからではなく、わたしが地元の講演だったり、お寺の総代だったりすることによるものです。そういう近所づきあいがあって、地域社会は回っているのです。  
**石田** 最後ですが、合併構想の実現という課題があります。  
**小泉** 船橋や柏と合併しても、「JAいちかわ」という名前を変えなかつた。次に大きな合併が控えていたからです。合併のたびに名

小泉勉氏は平成三十年十月二十七日に逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。